

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会
(第25期・第1回) 議事要旨

1 日 時 2020年12月7日(月) 18:00~19:30

2 方 法 遠隔会議 (Zoom)

3 出席者 東久美子、阿部彩子、植松光夫、江守正多、沖大幹、大手信人、大政謙次、春日文子、蟹江憲史、三枝信子(委員長)、齋藤文紀、佐藤薫、高薮縁、谷口真人、張勁(幹事)、中島映至、中村尚(副委員長)、原田尚美、春山成子、氷見山幸夫、福士謙介、山形俊男、渡辺知保

オブザーバ: 齋藤宏明、金谷有剛、宮崎雄三、速水祐一、佐藤永、見延庄士郎

欠席者 山形与志樹、吉田丈人

4 議題等

- (1) 第25期役員の決定について
- (2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- (3) 分科会委員間のメールアドレス共有について
- (4) 小委員会の設置承認について
- (5) 第25期の活動方針について
- (6) 特任連携会員の推薦について
- (7) その他

5 配布資料

資料1 FE・WCRP合同分科会 設置提案書・委員名簿

資料2 委員会等の議事要旨の公開等に関するガイドライン

資料3 メール審議の実施について

資料4 第25期日本学術会議地球惑星科学委員会組織図

CliC小委員会 設置提案書・委員名簿

CLIVAR小委員会 設置提案書・委員名簿

GEWEX小委員会 設置提案書・委員名簿

SPARC小委員会 設置提案書・委員名簿

Future Earth Coasts小委員会 設置提案書・委員名簿

GLP小委員会 設置提案書・委員名簿

IGAC小委員会 設置提案書・委員名簿

iLEAPS小委員会 設置提案書・委員名簿

IMBeR小委員会 設置提案書・委員名簿

PAGES 小委員会 設置提案書・委員名簿

SOLAS 小委員会 設置提案書・委員名簿

資料 5 第 24 期の活動総括

資料 6 特任連携会員の推薦について

参考資料 特任連携会員の選考の在り方について

6 議事内容

議事に先立ち、世話人の三枝委員より、議事の内容と委員構成（資料 1）について説明がなされ、続いて出席者による自己紹介が行われた。

（1）第 25 期役員の決定について

委員長：三枝委員の就任が承認された。

副委員長：委員長より中村（尚）委員が指名され、承認された。

幹事：委員長より張委員が指名され、承認された。

（2）議事要旨の提出に関する委員長一任について

委員長より、当委員会の議事要旨の提出については、議事要旨の案を所属委員へ回覧したのち、日本学術会議へ提出する前の最終版の承認を委員長に一任することについて資料 2 に沿って説明がなされ、承認された。

（3）分科会委員間のメールアドレス共有について

委員長より、今後の委員会活動においてメール審議を行うにあたり委員のメールアドレスを委員間で共有することが必要であることについて資料 3 に沿って説明がなされ、共有が承認された。

（4）小委員会の設置承認について

委員長より、資料 4 に基づき第 25 期地球惑星科学委員会組織図について説明がなされた。次に、WCRP 関係の 4 つの小委員会《CliC（委員長代理）、CLIVAR（見延）、GEWEX（高藪）、SPARC（佐藤（薫））》、Future Earth（FE）関係の 7 つの小委員会《Future Earth Coasts（速水）、GLP（春山）、IGAC（金谷）、iLEAPS（佐藤（永））、IMBeR（齊藤（宏））、PAGES（齋藤（文））、SOLAS（宮崎）》について、世話人または関係者から設置趣旨と 25 期における活動の予定などが説明され、合計 11 の小委員会について第 25 期における設置が承認された。

第 25 期において本分科会と IGBP と IHDP との連携の必要性、WCRP と FE 母体の国際的連携の強化の重要性などについて意見交換を行った。国際学術団体への拠出金について、沖委員より地球惑星科学委員会企画分科会での議論が紹介された後、春日委員と中村（尚）委員より 22 期以後の国際団体加入や拠出金の評価と調査票の状況が説明された。これを踏まえ、これまで以上に、学術会議内外での超学際的な連携と透明性が喫緊の課題である等、今期の課題が確認された。

(5) 第 25 期の活動方針について

資料 5 に沿って、中村（尚）委員より第 24 期の活動総括がなされた。第 25 期には学術会議全体の動態を注視しつつ、活発な活動と共に学術会議の一般社会への発信が必要であることが呼びかけられた。

種々の意見交換をした後、本分科会は 2021 年度後半に、テーマを絞って学術会議共催の公開フォーラムを開催する方向で、メールを利用し継続審議することになった。

(6) 特任連携会員の推薦について

委員長より、参考資料に従い特任連携会員の選考の在り方を説明したのち、資料 6 に沿って特任連携会員の推薦について説明を行った。特任連携会員の数には上限があることに留意し、抑制的に、幹事会において適宜、調整が図られることが確認された。

資料 6 の特任連携会員推薦候補者 2 名については、分科会として推薦することが承認された。

(7) その他

- ・氷見山委員より、12 月 2 日の外国特派員協会における学術会議会員任命拒否問題に関する記者会見情報 (<http://www.asahi.com/ajw/articles/13985390>) の紹介があった。
- ・春日委員より、令和 3 年 6 月 12-15 日に開催される Sustainability Research & Innovation Congress 2021 (<https://sri2021.org>) の紹介と参加の呼びかけがあった。
- ・情報交換の場として、本分科会の ML を作成することが了承された。